

活動プログラム展開案①<小学校>

「怒りについて考えよう」

- 本時のねらい
 - ・怒りの感じ方が人それぞれ違うことを理解することができる。

○ 展開(本時で使用する【スライド1】～【スライド4】は、展開案の後に示しています。)

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
<p>1. 身の回りのトラブルを想起し、活動プログラム全体の見通しをもつ。 【5分】</p> <p>2. 本時のめあてを知る。 【5分】</p>	<p>○皆さんは、どのような学級になったら、楽しい学校生活を送ることができると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲のよい学級 ・けんかのない学級 ・いじめのない学級 <p>○しかし、学校の中で、腹が立つことがあったり、ささいなトラブルが起きたりするかもしれません。先生は、もしトラブルが起きても、トラブルを話し合いで解決できる学級になればいいなと思っています。ささいなトラブルを皆さんの力で解決できるようになれば、もっと居心地のよい学級になると考えています。</p> <p>○これから、「トラブルが起きるときにどのような気持ちをもつか」、「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」、「トラブルが起きたときにはどのようにすればよいか」について学習していきます。</p> <p>○これは、佐賀県の小学生を対象に実施した「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」です。【スライド1】</p> <p>○皆さんの周りで同じようなトラブルを見たことがありますか。</p> <p>○このようなトラブルの場面で、あなたはどのような気持ちになりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イライラする ・腹が立つ ・ムカッとする ・悲しくなる <p>○トラブルが起きるときに感じる様々な気持ちの1つとして、怒りがあります。怒りは人間のもっている感情の1つで、怒りを感じるのは自然なことです。大事なことは、怒りとどのように付き合っていくかです。</p> <p>○今日は、怒りについて学習していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルについて学習することを説明し、活動プログラム全体の見通しをもたせる。 ・スライドで「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」を示し、1つずつ読み上げて身の回りのトラブルを想起させる。 ・発達段階や実態に合わせて怒りについて補足説明する。怒りが起きるのは自然なこと、怒りとどのように付き合うかを知ることが大切であることを知らせる。
<p>【本時のめあて】 怒りについて考えよう</p>		
<p>3. 「怒りの温度計」について考える。 (1) 「怒りの温度計」</p>	<p>○今から勉強しようと思っていたときに、親から「早</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚化することで自

<p>について知る。</p>	<p>く勉強しなさい」と言われたらどのくらいの怒りを感じますか。イライラしていないときの温度を0℃、怒りが爆発するときの温度を100℃として、怒りの温度がどのくらいになるのか、「怒りの温度計」に色を塗ってみましょう。【スライド2】</p>	<p>己理解を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 ・「怒りの温度計」について具体例を挙げながら説明する。
<p>(2) 「怒りの温度計」を記入する。 【10分】</p>	<p>○それでは、ワークシートに書いてあるような出来事があったとき、どのくらいの怒りを感じるのか個人で考えてみてください。「怒りの温度計」のところに色を塗ってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場面についての怒りの温度をワークシートに記入させる。
<p>(3) 「怒りの温度計」について班で話し合う。 【10分】</p>	<p>○班の人と「怒りの温度計」がどのくらいになったのか交流しましょう。【スライド3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で記入させた後、班で話し合わせることで様々な考えがあることに気付かせる。
<p>(4) 「怒りの温度計」を比べての気づきを発表する。 【5分】</p>	<p>○気付いたことや感じたことをワークシートに記入しましょう。【スライド4】</p> <p>○気付いたことを発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒りの温度は、人によって違っていた ・人によって、怒りの感じ方は違う ・怒りの温度が同じくらいの出来事があった <p>○同じ出来事でも怒りの感じ方は人によって違います。逆に、誰もが似た感じ方をする出来事もありました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことを全体の場で発表させる。 ・「怒りの温度計」を活用し、怒りの感じ方は人によって違うことを意識させる。
<p>4. 本時の学習を振り返る。 【10分】</p>	<p>○今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。</p> <p>○今日は、怒りについて勉強しました。怒りは、誰でも感じるもので、感じ方が人によって違うということも学びました。</p> <p>○次の時間は、怒りについてさらに詳しく学習していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりシートを配布する。 ・ふりかえりシートに記入したことを班で発表し合った後に全体の場で発表させる。 ・次時の学習について知らせる。

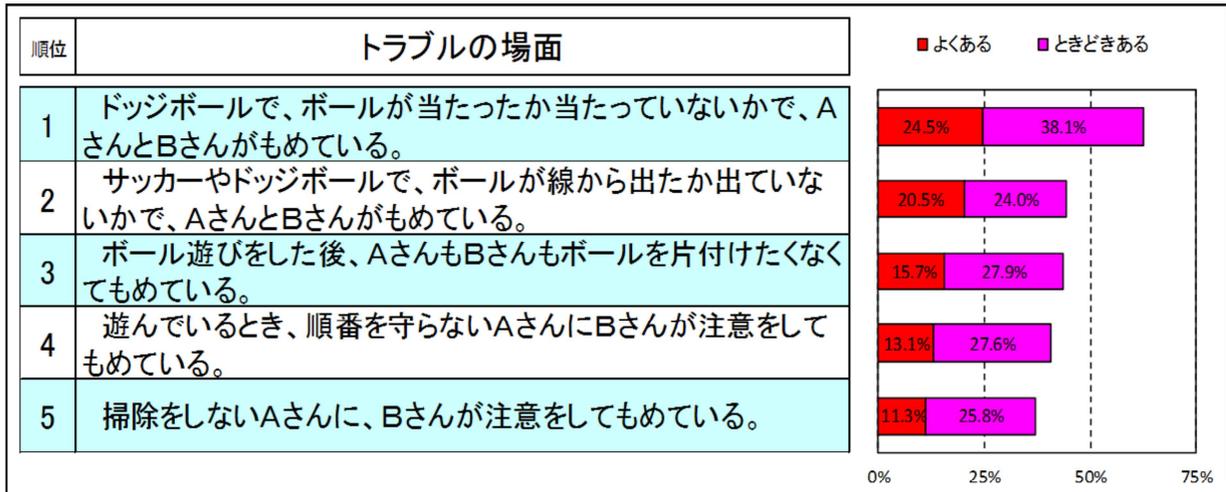
本時で使用使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】

友達との間で起きたトラブルについての調査結果(佐賀県)

小学校5年生

※「よくある」と「ときどきある」の割合の合計が多いトラブル場面の上位5つを挙げている。



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印のとき、アニメーションを動かす)

これは、第5位までの結果です。

第5位は、「掃除をしないAさんに、Bさんが注意をしてもめている。」でした。

第4位は、「遊んでいるとき、順番を守らないAさんにBさんが注意をしてもめている。」でした。

では、第3位から第1位までは、どんなトラブルでしょうか。考えてみましょう。

第3位は・・・

●「ボール遊びをした後、AさんもBさんも片付けたくなくともめている。」でした。

第2位は・・・

●「サッカーやドッジボールで、ボールが線から出たか出ていないかで、AさんとBさんがもめている。」でした。

第1位は・・・

●「ドッジボールで、ボールで当たったか当たっていないかで、AさんとBさんがもめている。」でした。

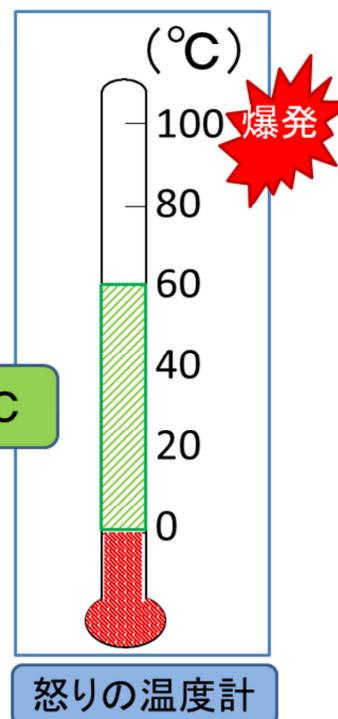
【スライド2】

自分の怒りの温度を測ってみよう！

次のような時、あなたはどのくらい怒りを感じますか。怒りの温度計に色をぬりましょう。

イライラしていない時の温度を0℃、怒りが爆発する時の温度を100℃とします。

(例) 今から勉強しようと思っていたのに、親から「勉強しなさい」と言われた。



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
(●印のとき、アニメーションを動かす)

ワークシートの1を見てください。

1. 自分の怒りの温度を測ってみよう
(ワークシートの設問を読み上げる)
あなたは次のようなとき どのくらい怒りを感じますか。
怒りの温度計に色を塗りましょう。
イライラしていない時の温度を0℃
●怒りが爆発する温度を100℃とします。

塗り方を確認します。

例を見てください。

「今から勉強しようと思っていたのに、親から『勉強しなさい』と言われた。」と書いてありますね。

同じことが起きたとき あなたの怒りの温度はどのくらいですか？ 考えてみましょう。

60℃だ と思ったら

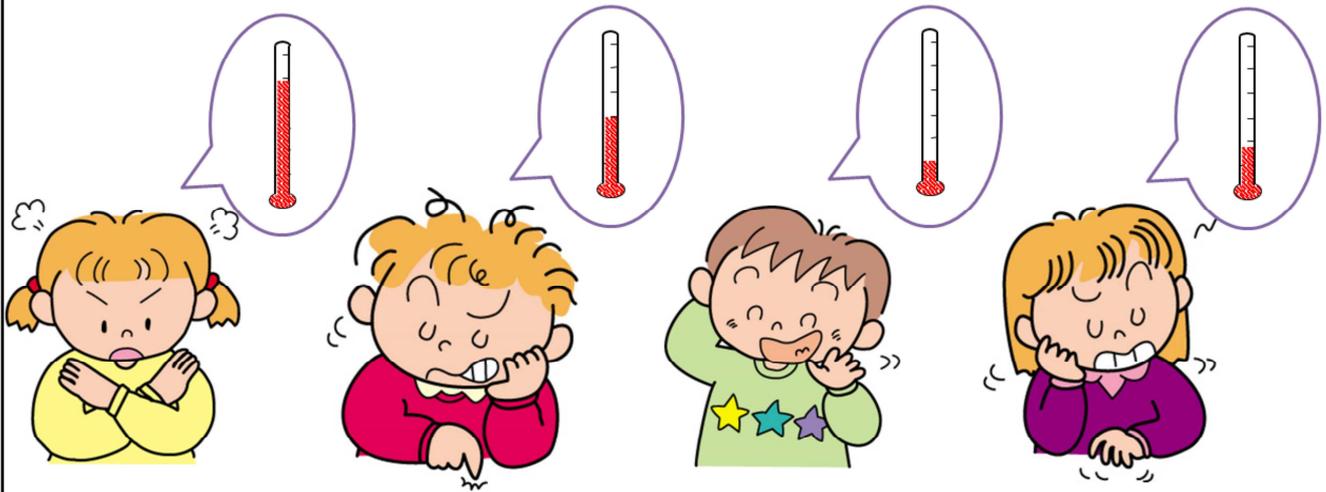
- このように 60の目盛りのところまで 色を塗りましょう。

塗り方について 質問はありませんか？

【スライド3】

怒りの温度を友達とくらべてみよう！

「①の時の怒りの温度は・・・」



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

班の人と「怒りの温度計」がどのくらいになったのか交流しましょう。

【スライド4】

怒りの温度を友達とくらべてみて、
気付いたことや感じたことを書こう！



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

気付いたことや感じたことをワークシートに記入しましょう。